

学校保健委員会だより

令和5年9月13日
珠洲市立宝立小中学校



8月24日（木）に、学校三師（学校歯科医・学校薬剤師）やPTA 母親代表の方々にご出席いただき、生徒会保健委員も参加して「学校保健委員会」を開催しましたので、内容の一部をお伝えします。

【学校保健委員会とは？】

心身ともに健康な児童生徒の育成をめざして、学校・家庭・地域が連携して児童生徒の健康課題について意見交換・協議し、健康づくりを推進するための組織です。



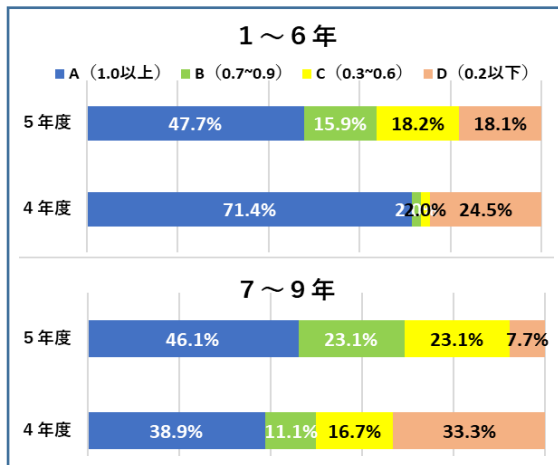
【内容】

1. 報告
 - ・本校児童生徒の保健室来室状況
 - ・スポーツ振興センター申請状況
 - ・健康診断結果より「視力」「歯・口の健康」状況
2. 協議
 - ・本校児童生徒の健康課題について「歯・口の健康状況」について
 - ・グループ協議
3. 指導・助言
 - 学校歯科医、学校薬剤師より

1. 健康診断結果より

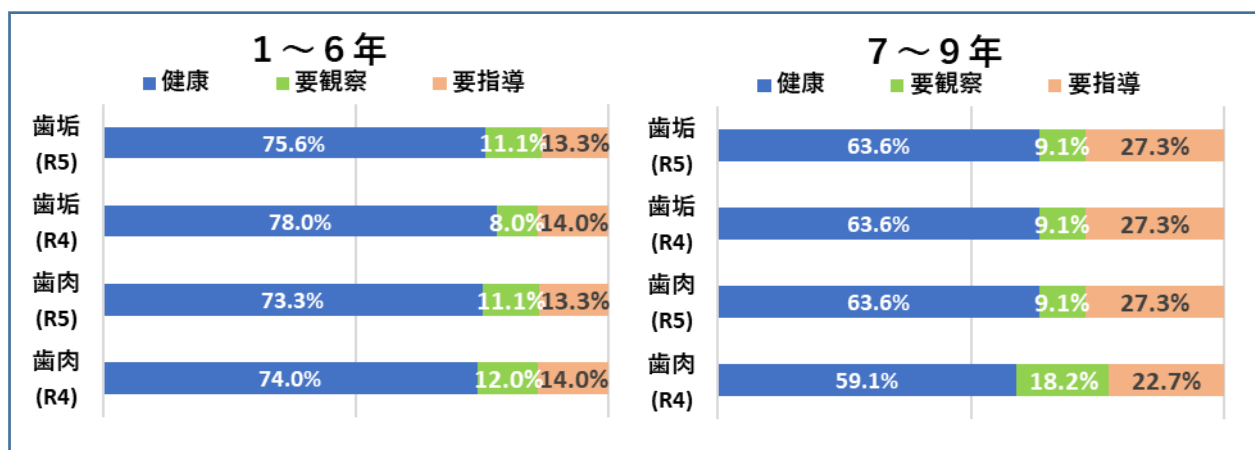


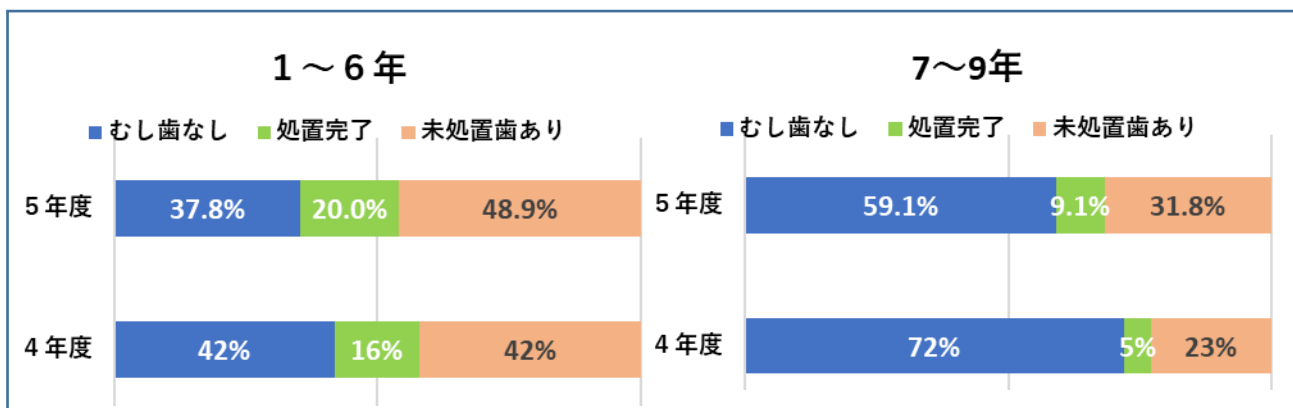
(1) 視力の状況



「視力」について、昨年度と比較すると、1～6年生は視力「A(1.0)」未満がかなり増加しています。7～9年生は視力「A(1.0)」未満は若干減少しました。視力低下の原因は「近くを見る時間が長いこと」「外遊びの時間が短いこと」が大きく関わっているとされています。近視は低年齢であるほど進行しやすいことがわかっています。今後、視力が低下していかないように、目に負担がかからない生活を送ることが大切です。

(2) 歯・口の健康状況





「むし歯」について昨年度と比較すると、「むし歯のない児童生徒」が減少し、「未治療むし歯のある児童生徒」が増加していました。これは「全国」や「県」と比較しても非常に良くない状況のため、今後、「歯・口の健康」状況が良くなるためにはどうしたら良いのかを「学校三師・母親代表の方々、学校職員」「生徒会保健委員」でそれぞれ、グループ協議をしました。

2. グループ協議



(1) なぜ、歯・口の健康状況が良くないのか。

- ・マスク着用が日常化して口元の意識が低い
- ・歯科受診（治療や定期健診）に消極的
- ・「歯や口の健康」を保持増進する意識が低いのでは？
- ・甘いものとり過ぎ
- ・歯みがきが上手ではない
- ・家庭で仕上げみがきができていない



(2) 歯・口の健康状況が良くなるためにどうしたら良いか

- ・学校全体で歯をしっかりとみがく雰囲気をつくる（ちゃんと笑えるように）
- ・食事によくかむ習慣をつける
- ・受診できるように保護者が工夫をする
- ・歯ブラシでのブラッシングだけでなく、フロスを使う
- ・仕上げみがきをする
- ・歯みがき剤を使ってすすぎを少なめにする。



(一部を紹介)

3. 指導助言



【中浜学校歯科医】 歯周病は歯周病菌、むし歯はミュータンスというむし歯菌によって起こる。予防は食生活と歯垢（プラーク）を取り除く歯みがきである。歯ブラシの形を考え、就寝前には歯みがきをして菌が繁殖しないようにさせること。また、だらだら食べないようにし、口の中が酸性にならないようにすることを意識する。

【星野学校薬剤師】 子ども達自身が自分の健康を守るために、自分に関心を持ち、健康に対する意識を高める事が必要である。そのためには正しい知識を蓄積し、保護者の方も根拠を持って伝える事が大事である。

学校保健委員会で話し合った内容や、学校三師からのご助言をもとに2学期からも児童生徒の心身の健康の保持増進また感染症予防に努めていきたいと思っております。今後ご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。

